

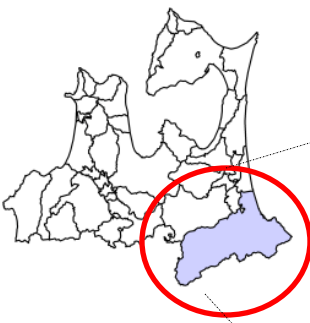
## 現地調査・ヒアリング対象地域（案）

- ・八戸市（八戸圏域定住自立圏）
- ・長岡市（長岡地域定住自立圏）
- ・飯田市（南信州定住自立圏）
- ・美濃加茂市（みのかも定住自立圏）
- ・彦根市（湖東定住自立圏）
- ・豊岡市（但馬定住自立圏）
- ・益田市（益田圏域定住自立圏）
- ・中津市（九州周防灘地域定住自立圏）
- ・延岡市（宮崎県北定住自立圏）

# 八戸市（八戸圏域定住自立圏）の主な取組

分野	医療	公共交通
事業名	ドクターカー運行事業	八戸圏域公共交通計画の策定・推進
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の中核的な医療機関に、ドクターカーを配備し、ドクターヘリ(青森県事業)との一体運用を行い、救急医療体制の一層の充実を図る。</li> <li>・ドクターヘリが出動できない場合(夜間、悪天候時等)にも、ドクターカーが出動し、同乗する医師が救急現場や搬送時の医療行為を実施。</li> <li>・運営費については、構成市町村間で費用を負担。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域市町村、県及び交通事業者から構成される八戸圏域公共交通計画策定会議を設置し、有識者からの提言・助言を踏まえつつ、調査・検討を行い、八戸圏域公共交通計画を策定。</li> <li>・計画の策定に当たっては、その周知及び意見収集のための住民アンケートや公聴会(ミニ・セミナー)の開催などを行う。</li> <li>・八戸市と周辺市町村を結ぶ広域路線バス上限の運賃を上限500円とする実証実験を行うとともに、圏域内の公共交通の乗継に関する情報を提供し、公共交通の利用を促進。</li> </ul>

# 八戸市 定住自立圏形成協定の概要



青森県



中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
八戸市	237,615	1.051

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
おいらせ町	24,211	南部町	19,853
三戸町	11,299	階上町	14,699
五戸町	18,712	新郷村	2,851
田子町	6,175	圏域合計	335,415

※平成22年国勢調査

## ○八戸市と周辺町村の間の定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
  - ・地域医療体制の充実  
(医師派遣体制の構築)
  - ・救急医療体制の充実  
(ドクターカーの導入)
  - ・周産期医療体制の充実(周産期医療施設の産科機能の維持・充実)
- イ 福祉
  - ・子育て支援の充実  
(特別保育事業等の拡充)
  - ・障害者福祉の充実
- ウ 産業振興
  - ・農業振興に係る情報提供体制の構築
- エ 教育
  - ・社会教育の推進  
(各種講座の情報提供体制の構築)

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
  - ・(仮称)圏域公共交通計画の策定及び推進
- イ デジタルディバイドの解消に向けたICTインフラの整備
  - ・ICTインフラの基盤整備及び利活用
- ウ 地域内外の住民との交流・移住促進
  - ・八戸市東京事務所を活用した地域情報の発信
  - ・グリーン・ツーリズムの推進  
(三八地方農業観光振興協議会の運営体制の充実)
  - ・空き家バンクを活用した移住促進  
(空き家バンクの構築)
- エ 安全・安心情報配信システムの構築
- オ 福祉避難所の整備

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

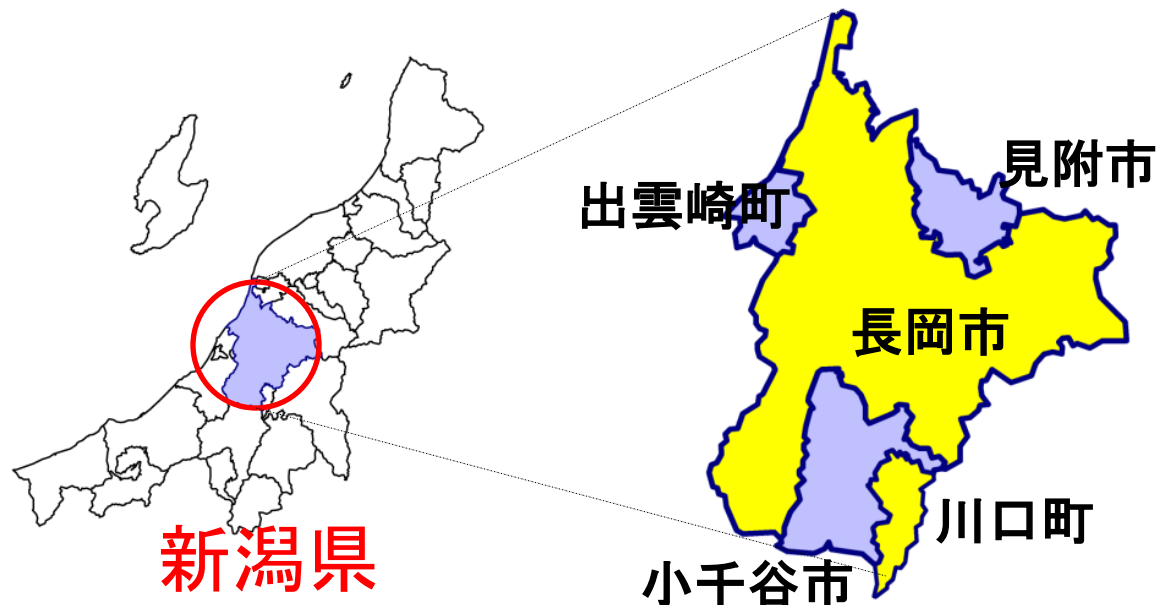
- ア 圏域内市町村職員の育成
  - ・合同研修及び学官連携地域シンクタンク事業を活用した人材育成
- イ NPO等の活動促進
  - ・NPO等の活動や支援などの情報共有

※周辺町により、協定内容は異なることに留意。

# 長岡市（長岡地域定住自立圏）の主な取組

分野	エネルギー
事業名	生ゴミバイオガス化事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的かつ効率的に低炭素・資源循環型社会の形成を図るため、生ごみのバイオガス化を推進。長岡市に生ゴミバイオガス化施設を整備し、周辺自治体から排出される生ごみの受入れ体制の構築に向け、検討会を開催。</li> <li>・平成25年7月から、生ごみバイオガス化施設の供用開始と、出雲崎町における生ごみ分別収集を開始予定。ワーキング部会で、各市の生ごみ処理の取扱いや今後の計画について確認。</li> <li>・PFI方式で実施し、民間業者が設計・建設から運営・維持管理まで一括受託。</li> <li>・各市町村のごみ分別品目の違いや、ごみ処理に係る経費が今後の課題。</li> </ul>

# 長岡市 定住自立圏形成協定の概要



中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
長岡市	282,674	1.026

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
小千谷市	38,600	出雲崎町	4,907
見附市	41,862	圏域合計	368,043

※平成22年国勢調査

## ○長岡市と周辺市町との定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

#### ア 医療

- ・高度医療及び救急医療体制の充実  
(急患診療所の施設・設備の整備等)

#### イ 産業振興

- ・観光情報の発信及び観光誘客の推進

#### ウ 環境

- ・ごみの減量及び資源の有効活用  
(生ごみのバイオガス化)

#### エ 消防・防災

- ・消防救急体制の強化  
(119番通報・司令業務の一元化)

#### オ その他

- ・各種相談体制の連携強化 ほか

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

#### ア 地域公共交通

- ・地域公共交通ネットワークの維持  
(基幹バス路線等の維持)

#### イ ICTインフラストラクチャーの整備

- ・ケーブルテレビのサービスエリア拡大

#### ウ その他

- ・公共施設の相互利用 ほか

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ア 人材の育成

- ・職員の人材育成  
(外部専門家による合同職員研修)
- ・スポーツ指導者の養成

※周辺市町により、協定内容は異なることに留意。

# 飯田市（南信州定住自立圏）の主な取組

分野	エネルギー	医療
事業名	マイクロ水力発電による地域エネルギー構築調査事業	救急・産科医療体制の確保
事業内容	<p>・中山間地域の重要なインフラである農業用水路を活用した、マイクロ水力発電事業に地域住民が主体となって取り組むモデルを構築する。また、適地選定から設置工事、運営管理を一元的に行うことで、圏域全体への展開と新たな環境産業の創出により、圏域内の活力を創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内において、良質な医療が安心・安全かつ的確に提供されるように、中核病院である飯田市立病院等の機能強化を図るとともに、各病院・診療所・関係医療機関の連携体制を強化し、圏域が有する医療資源が効率的に運用される体制の充実を図る。</li> <li>・圏域の救急医療体制を確保するため、休日夜間当番制(休日夜間急患診療所の運営、在宅当番医制、病院群輪番制等)について支援を行う。</li> <li>・圏域の産科医療体制を確保するため、市町村、圏域の医療関係者等で構成する産科問題懇談会を中心に、セミオープンシステム及び共通カルテの運用など、地域の医療機関と連携した取組を行う。</li> </ul>
備考	<p>・H25定住自立圏等推進調査事業（モデル事業）</p>	



# 飯田市 定住自立圏形成協定の概要



長野県



中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
飯田市	105,335	1.047

周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
松川町	13,677	売木村	656
高森町	13,216	天龍村	1,657
阿南町	5,455	泰阜村	1,910
阿智村	7,036	喬木村	6,692
平谷村	563	豊丘村	6,819
根羽村	1,129	大鹿村	1,160
下條村	4,200	圏域合計	169,504

※平成22年国勢調査

## ○飯田市と周辺町村との間の定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
  - ・ 救急医療体制の確保  
(救命救急センター、休日夜間当番制)
  - ・ 産科医療体制の確保  
(セミオープンシステム、共通カルテ)
  - ・ 大規模災害医療救護体制の整備
- イ 福祉
  - ・ 圏域健康計画の策定
- ウ 産業振興
  - ・ 地場産業センターの運営等  
(人材育成、新事業展開、新規創業等の支援)
  - ・ 鳥獣害防止総合対策
- エ 環境
  - ・ 地域ぐるみによる環境関連活動  
(環境モデル都市の取組の普及拡大)

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通及びICTインフラの整備
  - ・ 公共交通ネットワークの構築  
(周辺町村とを結ぶバス路線の確保等)
  - ・ 地域情報共有システムの構築  
(メール配信システム、地域コミュニティサイト、データ放送システムの構築及び運営)
- イ 圏域内外の住民との交流及び移住の促進
  - ・ にぎわい拠点の整備  
(飯田市中心市街地、名勝天竜峡等のにぎわい創出等、町村に存する多様な観光資源の魅力の向上等)

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 人材育成等
  - ・ 環境、法務、財務会計、税務等の専門研修
  - ・ 生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化の取組を推進するための研修
  - ・ 圏域外の専門家の招へい等

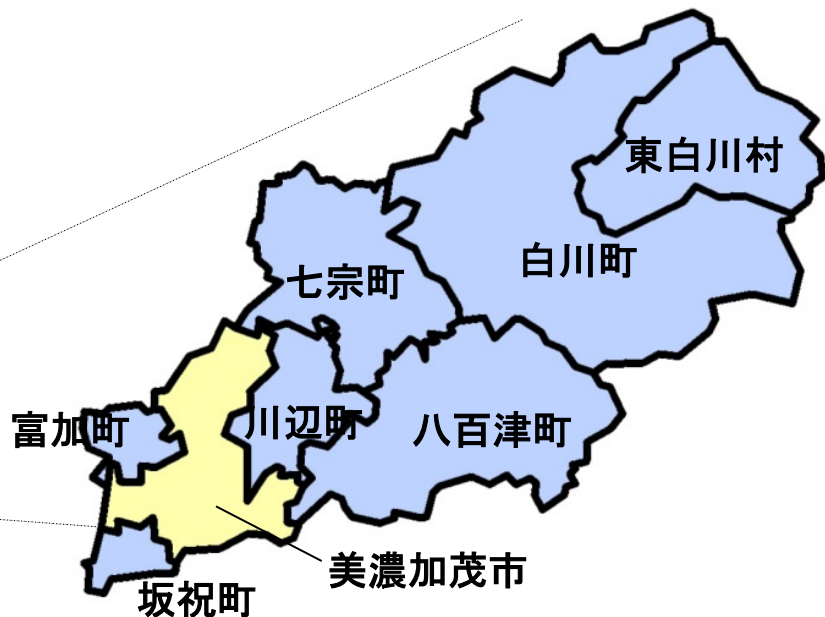
※周辺町村により、協定内容は異なることに留意。

# 美濃加茂市（みのかも定住自立圏）の主な取組

分野	医療	公共クラウド
事業名	救急情報共有連携事業	電算システムの共同利用事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学医学部の学内ベンチャー企業が中心となって開発されたICカード(medica)を用いて救急搬送時の患者情報の共有を行う取組。搬送時間や治療時間の短縮を実現するもの。H25.4末時点で9365人分を発券。</li> <li>・木沢記念病院と可茂消防事務組合で先行運用中の取組を圏域内の医療機関へ拡大することを計画している。</li> <li>・今後は、中心市だけでなく、利用者の居住する市町村にも負担を求めるとともに、開業医を含む最新情報の共有など、カードの発展的な活用を検討したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年12月から、美濃加茂市、坂祝町で、住民記録、住民税等につき、電算業務を共同で運用。坂祝町と合同のプロジェクトチームを結成し、システムの構築などの具体的作業を進め、民間のシステム会社に発注。</li> <li>・平成24年4月から、美濃加茂市、七宗町で、クラウドサービスの施設予約システムを共同利用。今後は参加団体の拡大を図り、運用、保守にかかるコストを抑えつつ、利用者の利便性を向上したい。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H22定住自立圏構想推進調査報告書(非モデル事業)</li> </ul>	



# 美濃加茂市 定住自立圏形成協定の概要



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率	
美濃加茂市	54,729	1.032	
周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
坂祝町	8,361	川辺町	10,593
富加町	5,516	七宗町	4,484
白川町	9,530	八百津町	12,045
東白川村	2,514	圏域合計	107,772

※平成22年国勢調査

## ○美濃加茂市と周辺町村の間の定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
  - 病診連携強化
  - 医療の高度化と救急対応能力の向上
- イ 福祉
  - 子育て支援サービス強化
  - 福祉サービス向上の環境整備
  - 高齢化社会に強い圏域の形成
- ウ 教育
  - 外国籍児童・生徒の教育環境整備
  - 公共施設の共同利用推進
  - スポーツ・文化団体等の交流促進
  - 不登校児童生徒への支援
- エ 産業振興
  - 農商工連携による地域ブランド開発
  - 木曾川や旧中山道活用の観光推進
  - 圏域の特色を活かした観光の推進
  - ものづくり観光推進
  - 産業活性化のための実践的職業訓練促進
  - 産業活性化のための異業種間・産学連携と人材育成の推進
  - 農林業の振興
- オ 環境
  - 総合的な環境・エネルギー対策推進

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通整備
  - 地域公共交通ネットワークの推進
- イ 道路等のインフラ整備
  - 都市計画区域統合
  - 生活幹線道路整備
  - 生活インフラ相互利用
- ウ 地域住民の交流促進
  - 多文化共生推進
- エ 情報ネットワークの整備・活用
  - CATV、携帯通信、情報紙等を活用した情報環境整備

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

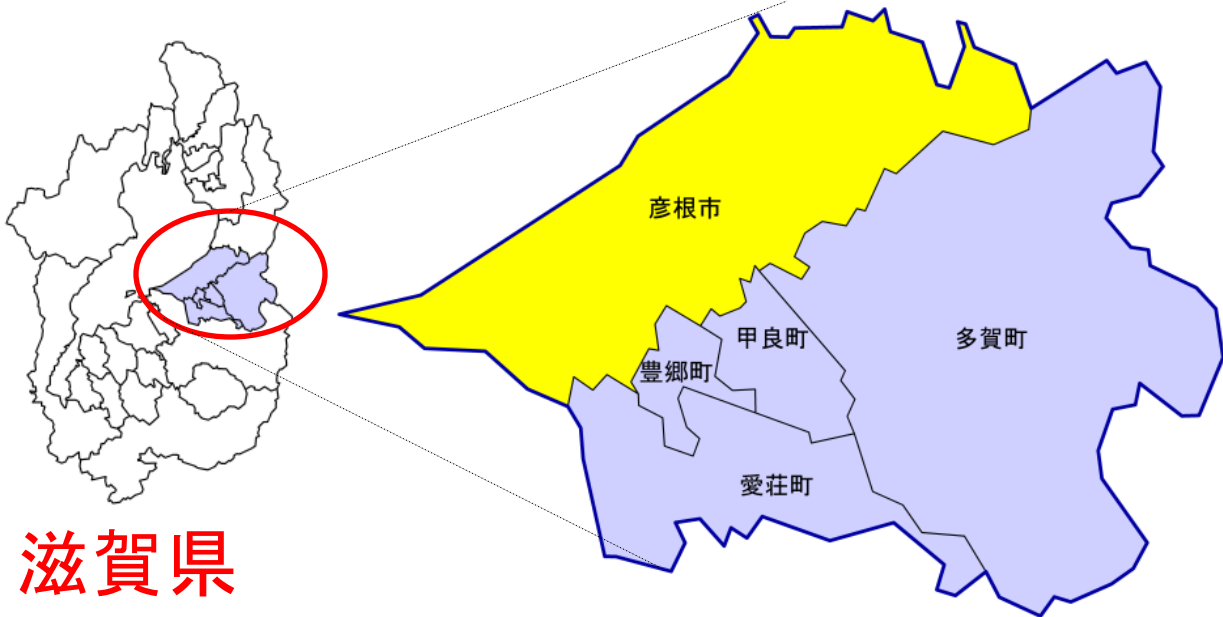
- ア 人材の育成・交流
  - 職員の合同研修及び人材交流
- イ 外部からの行政及び民間人材確保
  - 外部の専門的な人材登用
- ウ 圏域行政事務の共同化
  - 行政事務の効率運用
  - 定住自立圏構想推進に係る会議の設置

※周辺町村により、協定内容は異なることに留意。

# 彦根市（湖東定住自立圏）の主な取組

分野	産業振興（共発モデル）	教育
事業名	地域創造事業	看護学部設置のための施設整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の一体感の醸成と活性化を図るため、圏域内の住民団体やNPO法人等が自ら創意工夫を凝らして企画・立案・実施する地域創造事業（戦国や戦（いくさ）をテーマとした事業、地域資源の再発見・掘り起こしにつながる事業、湖東圏域の活性化につながる事業等を募集し、審査して決定）に対して支援を行う取組。</li> <li>・採択事業の決定にあたっては、圏域内の委員で構成される審査会を開催。HPや報道機関への情報提供を一本化し、圏域全体での取組として周知を行う。</li> <li>・今後は補助がなくとも事業を遂行できるような方法を模索し、新たな団体が事業提案しやすい環境づくりを進めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の医療従事者が不足する中で、学校法人聖泉大学に看護学部を設置するため、教室・実験室・研究機器等の整備を行い、専門性の高い看護師を養成する。現在は、看護師確保対策としてビジョンに基づく取組を推進。</li> <li>・現在の学生が看護師として就職するのは平成27年以降であるが、圏域内での医療機関等での実習を計画しており、圏域に就職してもらえるように学生の間から働きかけていく。</li> </ul>
備考	・H22定住自立圏構想推進調査報告書（非モデル事業）	・H21定住自立圏等民間投資促進交付金（充当）
分野	公共交通	公共交通
事業名	湖東三山スマートICアクセス道路の整備	駅関連施設や駅周辺施設の整備
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に完成予定である湖東三山スマートICへのアクセス道路を整備することにより、同ICの利便性を向上させ、観光振興や生活環境等の向上を図り、湖東地域全体の活性化を目指す取組。</li> <li>・軸となる国道8号からスマートインターまでのアクセス道路を整備。今後は圏域内の広域道路網についても引き続き検討していくが、多額の事業費が必要となるため、事業費の確保が課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の公共交通の結節点である彦根駅及びその周辺の整備を行うことにより、公共交通の利便性を圏域全体で高め、人・もの・情報等の交流の促進と地域の活性化を図る取組。</li> <li>・駅東口の周辺地域からの公共交通乗り入れに伴う結節点機能を高めるため、区画整理事業を実施している。</li> <li>・湖東定住自立圏推進協議会の地域公共交通部会において、整備方針等についての意見を聴取している。</li> </ul>
備考	・H22定住自立圏構想推進調査報告書（非モデル事業）	・H22定住自立圏構想推進調査報告書（非モデル事業）

# 彦根市 定住自立圏形成協定の概要



滋賀県

中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率	
彦根市	112,156	1.017	
周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
愛荘町	20,118	甲良町	7,500
豊郷町	7,566	多賀町	7,761
圏域合計	155,101		

※平成22年国勢調査

## ○彦根市と周辺町との間の定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
  - ・圏域内各医療機関の役割の明確化、機能分化、連携強化、ネットワーク化
- イ 福祉
  - ・障害者（児）福祉サービスの充実
  - ・次世代育成支援
- ウ 教育
  - ・拠点図書館の整備と図書館相互のネットワークの構築
- エ 産業振興
  - ・びわ湖・近江路観光圏構想の推進などによる観光振興
- オ 環境
  - ・低炭素社会の構築および琵琶湖の水質保全

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
  - ・圏域全体の総合的な公共交通ネットワークの構築
- イ（仮称）湖東三山スマートインターチェンジの整備
  - ・（仮称）湖東三山スマートインターチェンジを活用した地域振興
- ウ バイコロジー自転車道の整備促進
  - ・バイコロジー自転車道の整備およびルート（マップ）の整備
- エ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消の推進
  - ・農産物の生産体制の整備および学校給食や直売所における地元農産物の安定的な利用拡大

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 職員の人材育成
  - ・合同研修や研究等の実施による職員の資質および政策課題への対応力向上
- イ 職員等の交流
  - ・職員の人事交流
- ウ コンピュータシステムの共同利用・共同開発
  - ・コンピュータシステムの共同利用・共同開発

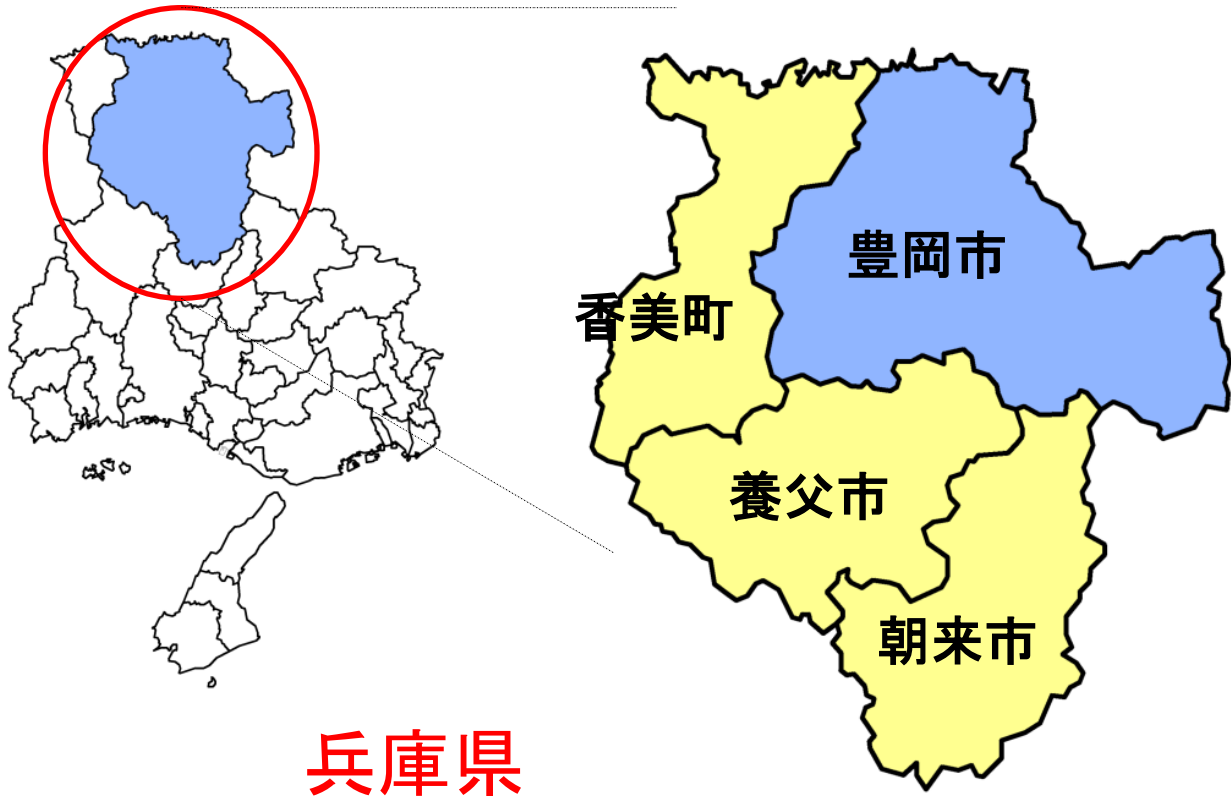
※周辺町により、協定内容は異なることに留意。

## 豊岡市（但馬定住自立圏）の主な取組

分野	産業振興
事業名	コウノトリ育むお米(コウノトリ育む農法)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウノトリも住める環境づくりを進めるため、おいしいお米と様々な生きものを同時に育む「コウノトリ育む農法」を推進。</li> <li>・研修会、生産者大会、消費者との交流会、体験活動等を実施。</li> <li>・「コウノトリ育むお米生産部会(事務局:JAたじま)を設置し、但馬全域での取組を推進。</li> </ul>



# 豊岡市 定住自立圏形成協定の概要



兵庫県

中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
豊岡市	85,592	1.020

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
養父市	26,501	朝来市	32,814
香美町	19,696	圏域合計	164,603

※平成22年国勢調査

## ○豊岡市と周辺市町との間の定住自立圏形成協定の概要

- (1) 生活機能の強化に係る政策分野
- ア 医療
    - (ア) 医師、看護師等の確保等
    - (イ) 周産期医療体制・ネットワーク整備
    - (ウ) 救急医療体制の充実
  - イ 産業振興
    - (ア) 山陰海岸ジオパーク推進
    - (イ) 農作物被害防止対策等の推進
  - ウ その他
    - (ア) ごみ処理施設整備・運営
    - (イ) 大規模災害発生時における応援体制

- (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
- ア 地域公共交通
    - (ア) 但馬空港の利用促進
    - (イ) 地域公共交通の利用促進
  - イ 地域内外の住民との交流
    - (ア) 独身男女の出会いの機会の提供

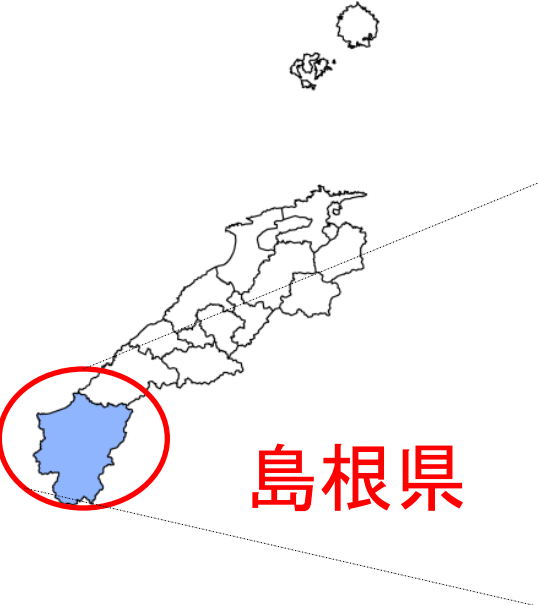
- (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
- ア 人材の育成及び確保
    - (ア) 職員研修事業
- ※周辺市町により、協定内容は異なることに留意。



## 益田市（益田圏域定住自立圏）の主な取組

分野	医療
事業名	医療施設等整備支援事業（医療情報システム（電子カルテ等））
事業内容	<p>・H21定住自立圏等民間投資交付金を活用し、圏域内の中核病院が医療情報システム（電子カルテ等）の整備などを行う際、経費の一部を支援。島根県の医療ネットワークに接続することにより、ネットワークに加入する医療機関とITを活用した病診連携が可能となった。</p> <p>・また、益田圏域医療担当者会議を毎月開催するとともに、自治医科大学梶井教授の助言を受けながら、市民団体と連携した適正受診の啓発を行うなど、圏域医療体制の充実に向けたソフト事業を実施している。</p>
備考	<p>・H21定住自立圏等民間投資促進交付金（充当）</p>

# 益田市 定住自立圏形成協定の概要



島根県



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
益田市	50,015	1.007

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
津和野町	8,427	吉賀町	6,810
		圏域合計	65,252

※平成22年国勢調査

## ○益田市と周辺町の定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ① 医療
  - ア 医療体制の維持・充実
  - イ 地域医療を守る体制の確立
  - ウ 医療連携の強化
- ② 産業振興
  - ア 高津川流域産品のブランド化
  - イ 流域産材の利用促進
  - ウ 観光の振興
  - エ 新・省エネルギーの導入促進
- ③ その他
  - ア 地域防災力の向上

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ① 地域公共交通
  - ア 地域公共交通ネットワークの維持
- ② 交通インフラの整備
  - ア 高規格道路等の整備促進
- ③ 地域内外の住民との交流・移住促進
  - ア 体験型観光・滞在型交流の推進

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ① 人材育成
  - ア 地域の担い手育成・確保
- ② 圏域内市町の人材交流
  - ア 職員の交流

※周辺市により、協定内容は異なることに留意。

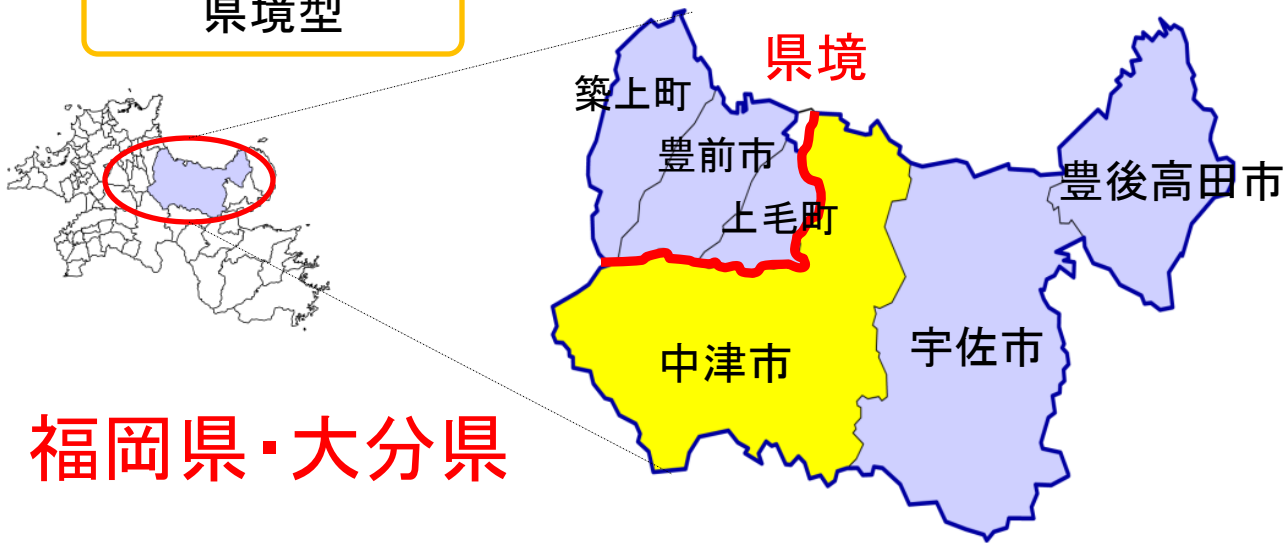
# 中津市（九州周防灘地域定住自立圏）の主な取組

分野	医療
事業名	小児救急医療体制の確保
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児救急センター支援事業 小児救急医療体制の確保を目指し、圏域の中核病院(中津市民病院)内にある小児救急センターの24時間365日体制維持のため医師確保経費などの運営費を助成する。</li> <li>・小児救急医療啓発事業 圏域内の小児救急体制の確保を目指し、軽症患者のコンビニ受診などの減少と重症救急患者への対応の充実を図るため、小児救急ハンドブックの配布や出前講座などにより適正受診について理解を求める。</li> <li>・小児救急センター整備事業 小児救急体制の確保におけるハード面の充実対策として、圏域における休日・夜間の小児救急医療の拠点となる小児救急センターを整備する。</li> </ul>

分野	公共交通	産業振興(観光)
事業名	コミュニティバス運行事業	広域観光連携事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県境を越え、豊前市と中津市民病院等を結ぶ豊前中津線コミュニティバスを豊前市と中津市の共同で運行する。</li> <li>・病院等の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のため、コミュニティバスの路線新設や既存路線との連携を検討する。</li> <li>・運行費用については、豊前市と中津市がバス路線の運行距離に応じて按分して負担。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な観光資源の連携による観光振興及び交流人口の拡大を図るため、圏域各所にある観光地に案内看板やパンフレットを設置するなど、相互に情報を共有・発信する。</li> <li>・観光パンフレットやルートマップの作成や、案内看板の整備、圏域内の市町村の観光案内施設等における圏域内観光情報の相互発信等により、圏域にある観光資源相互の連携を図り、交流人口の増加を目指す。</li> </ul>

# 中津市 定住自立圏形成協定の概要

県境型



中心市名	人口（人）	昼夜間人口比率
中津市	84,312	1.024

周辺市町村名	人口（人）	周辺市町村名	人口（人）
宇佐市	59,008	築上町	19,544
豊後高田市	23,906	上毛町	7,852
豊前市	27,031	圏域合計	221,653

※平成22年国勢調査

## ○中津市と周辺市町との定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

#### ア 小児救急医療体制の確保

小児科の休日夜間における救急医療体制を確保するため、小児救急に係る医師人件費等を圏域自治体で負担する。

#### イ 勤労者福祉サービスセンターの運営

圏域の中小企業の従業員に対する共済金の給付や余暇活動に対する助成を行うサービスセンターの運営を圏域で支援する。また、各自治体は、サービスセンターへの加入促進活動を協力して行う。

#### ウ 企業誘致等

企業誘致のための工業用地整備や、誘致活動の推進、従業員のためのインフラ整備等を行う。

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

#### ア 公共交通

病院等圏域の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のため、コミュニティバスの路線新設や既存路線との連携を検討。

#### イ 定住・移住促進

定住・移住促進のための空家等の情報を圏域内で集約し、共同で情報発信。

#### ウ 圏域内外の住民との交流

圏域の交通ネットワークを活用した広域観光ネットワークを形成し、観光振興及び圏域内外の住民との交流を推進。

#### エ 広域道路網整備

病院等圏域の生活機能を確保するための施設に対するアクセス向上のための道路整備や、広域的な交通ネットワークの整備促進。

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

圏域自治体職員の資質向上のための合同研修の開催や、人材交流の推進、圏域外からの専門家の招聘等を行う。

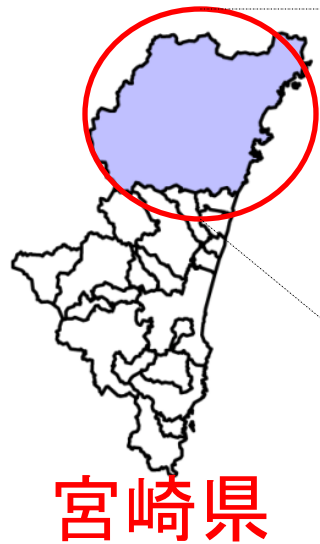
※周辺市町により、協定内容は異なることに留意。

# 延岡市（宮崎県北定住自立圏）の主な取組

分野	医療	産業振興
事業名	圏域医療体制の充実	雇用の場の確保
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の医療体制の維持・充実を図るため、圏域の二次・三次医療を担う拠点病院である県立延岡病院と地域医療機関との機能分担と業務連携を徹底。</li> <li>・中核病院に勤務する医師の負担を軽減させるため、医師会との連携による圏域医療体制の構築や住民団体による適正受診の啓発等を推進。</li> <li>・医師会等との協力による夜間急病センター・休日在宅当番医制の運営や、住民団体と連携した適正受診の啓発、小児救急医療電話相談の活用促進、地域医療を担う人材を育成するための取組等を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器産業の集積や豊富な農林水産資源などの圏域の特徴を活かし、産学官連携や圏域内の企業連携等を支援し、産業の振興を図る。</li> <li>・産学官の連携により、医療機器の研究開発促進、地場企業の医療関連産業の参入支援、医療技術者の育成と交流促進などに取り組み、「延岡市メディカルタウン構想」を推進。</li> <li>・木質バイオマス燃料の安定供給システムの構築、水産物ブランド品の品質向上・販売促進等により、豊富な地域資源を活かして雇用の創出を図る。</li> </ul>



# 延岡市 定住自立圏形成協定の概要



圏域重複型(日向市圏域)

中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率	
延岡市	131,182	1.013	
周辺市町村名	人口(人)	周辺市町村名	人口(人)
日向市	63,223	美郷町	6,248
門川町	18,854	高千穂町	13,723
諸塚村	1,882	日之影町	4,463
椎葉村	3,092	五ヶ瀬町	4,427
		圏域合計	247,094

※平成22年国勢調査

## ○延岡市と周辺市町村の間の定住自立圏形成協定の概要

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ①地域医療
  - ・ 圏域医療体制の充実
  - ・ 初期救急医療体制の確立
  - ・ 検診体制の構築
- ②産業の振興及び雇用の場の確保
  - ・ 雇用の場の確保
  - ・ 木質バイオマス燃料の推進
  - ・ 鳥獣被害防止対策
  - ・ 水産物のブランド化及び販売
  - ・ 圏域観光の推進
- ③福祉
  - ・ 次世代育成支援対策
  - ・ 障がい者の支援体制の構築
- ④その他
  - ・ 消防相互応援体制の整備
  - ・ 廃棄物の適正処理
  - ・ 大学との連携
  - ・ 農林水産物の地産地消の推進

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ①産業振興のための社会資本の連携活用
  - ・ 物流基盤の連携整備
- ②地域公共交通ネットワークの構築
  - ・ 中心市街地の活性化
- ③ICT基盤の整備活用
  - ・ 地域情報ネットワークの構築
  - ・ ICTによる遠隔医療・遠隔教育等システム構築の研究
- ④高速交通網及び幹線・生活道路の整備、活用
  - ・ 交通ネットワークの整備充実
- ⑤地域の相互理解と交流の推進
  - ・ 地域の資源を活かした圏域内の交流
  - ・ スポーツ合宿の共同誘致
  - ・ 森林保全

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ①圏域住民の人材育成
  - ・ 職業系の人材育成
  - ・ 地域の資源を活かした人材育成
- ②職員の交流
  - ・ 行政職員の人材育成
- ③外部人材の活用
  - ・ ICT基盤を活用した生活機能の強化に係る検討
- ④その他
  - ・ 自治体電算システム機能の共同調達

※周辺市町村により、協定内容は異なることに留意。